



つくばで自然災害を考える

平成28年 **2月5日** (金)
13:00~16:30

国土地理院「地図と測量の科学館」
オリエンテーションルーム

平成27年9月、関東・東北豪雨により茨城県常総市は甚大な被害を受けました。異常気象や堤体、避難誘導の問題点などが取り沙汰されていますが、一方で地図や地形などの専門的見地からするとどうであったのか。これらのことについて深く学び、今後の防災対策に役立てるための講演会を企画しました。関東ICT推進NPO連絡協議会において各県で開催されている地域連携交流会の一環として、被災地常総市に近いつくば市において、県内外の方々と共に、学び、意見交換する場を設けます。

主催 : 総務省関東総合通信局、関東ICT推進NPO連絡協議会、
特定非営利活動法人GIS総合研究所いばらき (GRI)
後援 : 茨城県、つくば市
協力 : 国土地理院



～つくば地域連携交流会～ つくばで自然災害を考える

日時：平成28年2月5日（金） 13:00～16:30

場所：国土地理院「地図と測量の科学館」 オリエンテーションルーム

主催：総務省関東総合通信局、関東ICT推進NPO連絡協議会、特定非営利活動法人GIS総合研究所いばらき

後援：茨城県、つくば市

協力：国土地理院

スケジュール（敬称略）

司会進行 日辻美香（フリーアナウンサー）

13:00～ 開会挨拶：山口 浩（総務省関東総合通信局情報通信部長）
豊田友夫（国土地理院総務部広報広聴室長）

13:10～14:10 基調講演：「自然災害を地図で理解する」
宇根 寛（国土地理院地理空間情報活用推進分析官）

14:10～14:20 休憩

14:20～15:40 話題提供 ～関東・東北豪雨から学ぶ～

- (1) 被災状況 現地からの報告
中島博敬（(株)新星コンサルタント 代表取締役）
- (2) データで見る気象状況
筒井和雄（(株)日立製作所インフラシステム社 電機システム本部）
- (3) 被災地からの情報発信最前線 起きてわかった情報の重要性
青木智也（イバラキング・いばらき統計サポーター）
- (4) 何が被害を甚大にしたか
安原一哉（茨城大学地球変動適応科学研究機関・GRI代表理事）

15:40～15:50 質疑応答

15:50～ 閉会挨拶：三木哲也（関東ICT推進連絡NPO協議会代表幹事）

15:55～16:30 閉会 国土地理院「地図と測量の科学館」 自由見学

会場へのアクセス

国土地理院「地図と測量の科学館」（茨城県つくば市北郷1番）

バスでお越しの場合

TXつくば駅・つくばセンターより「建築研究所」又は「下妻駅」行で約10分。「国土地理院」下車。

自家用車でお越しの場合

常磐自動車道・谷田部IC又は圏央道つくば中央ICより約20分。

お申し込み・お問い合わせ先

特定非営利活動法人GIS総合研究所いばらき

〒311-4153水戸市河和田町4471-45

電話 029-257-1234 FAX 029-255-2555

HP <http://www.gis-ibaraki.or.jp>

メール office@gis-ibaraki.or.jp

